

# 空気圧点検条件を日本自動車タイヤ協会推奨との比較

ページ1/4

一般乗用車の場合

タイヤ協会推奨	岡田康博推奨（岡田式）
<b>点検・調整の基本</b>	
走行前の冷えている時に指定空気圧 ? 走行前に指定空気圧を下回っては いけない事になる（不可能）	走行後に走行中の適正空気圧 指定空気圧+10~15kPa（市街地） 指定空気圧+10%（高速道路）
<b>走行</b>	
走行しない 例外: 1 km以内の走行は可能（記述なし）	走行自由 走行後、走行前どちらでも可能
<b>走行増補正</b>	
なし ※ヨコハマタイヤ 10kPaプラス（記述なし） ※ブリジストンのHP 20~30kPa 冷間時に再調整 ※ブリジストンある販売会社 10%プラス（口答指導） ※三菱ふそう（大型トラック） 10% 冷間時に再調整	あり 市街地10km以上走行 10~15kPa 市街地5km前後走行 10kPa 市街地2~3km走行 5kPa 市街地1 km以下走行 0 kPa ※ 小雨 10kPa 大雨 5kPa 豪雨 0 kPa 晴れ高速 10% ★新型プリウスの調査結果のため 車種、タイヤの種類の検証が必要
<b>気温</b>	
無視 常温でならば何時（何度）の時でも良い ※ヨコハマタイヤのみ10kPaプラス	平均気温 午前9時前後 気象庁の過去の平均気温を参考
<b>気温の影響補正</b>	
なし ※ヨコハマタイヤ 午後10kPaプラス（記述なし）	平均気温が基準（気象変化に合わせる） 水蒸気を含んだ空気 1度で1.5kPa 理想気体 1度で1.1~1.2kPa ※気温差5度以下は無し ★新型プリウスの調査結果のため 車種、タイヤの種類の検証が必要

# 空気圧点検条件を日本自動車タイヤ協会推奨との比較

ページ2/4

一般乗用車の場合

タイヤ協会推奨	岡田康博推奨（岡田式）
自然漏れ（1ヶ月分）の補正10~20Kpa	
正式には無い ※自動車ディーラー 多め（一年中） 整備士によりまちまち ※ブリジストン（一年中） 10~20kPa多く入れるように指導 徹底してる訳ではない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温上昇時（春） 無し</li> <li>・気温横ばい時（夏・冬） 5kPa</li> <li>・気温下降時（秋） 10kPa</li> </ul> 1ヶ月の自然漏れ：10kPa ※季節補正=自然漏れ+気温変化÷2
直射日光の影響	
無視	ガレージ内 晴天時 日陰のみ 曇り雨天可能 長時間（1時間以上）直射日光の当たった 場合は点検してはいけない。
冷間時の指定空気圧	
点検時の気温で違う	すべて平均気温同じ
再点検時（自然漏れ）	
分からない 気温基準なし 気温の影響のため不正確	正確に分かる 基準は平均気温 点検時の気温と結果の記録が必要
走行中の空気圧	
最低時と最高気温度 点検時の気温にバラツキ	同じ車種ならすべて同じ（10kPa以内）
自動車車種（整備工場）	
点検時の気温にバラツキ	同じ車種ならすべて同じ（10kPa以内）
来店客（整備工場）	
点検時の気温にバラツキ 午前と午後の客の空気圧は違う	同じ車種ならすべて同じ（10kPa以内）

# 空気圧点検条件を日本自動車タイヤ協会推奨との比較

ページ3/4

一般乗用車の場合

タイヤ協会推奨	岡田康博推奨（岡田式）
安全性（平常時）	
問題ナシ	問題ナシ
緊急回避時の性能	
本来の性能が出せるか疑問	常に最善の状態
燃費	
気温の高い時に点検した場合は悪化 CO2の排出増につながる	常に最善の状態 CO2の排出削減にも貢献 1%の削減は可能（推測）
利便性	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行前                             <ul style="list-style-type: none"> <li>× エアーゲージ必要</li> <li>× コンプレッサー必要</li> </ul> </li> <li>近くのガソリンスタンドで点検</li> <li>× ユーザーの選択・行動を拘束</li> <li>× 1km以内にGSが無い地域がある。</li> <li>・ 冷えている時                             <ul style="list-style-type: none"> <li>× 冷えるのに時間がかかる。</li> <li>× 屋外駐車は日光の影響を受ける</li> </ul> </li> <li>・ 点検作業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 簡単</li> </ul> </li> <li>・ 条件が整う事は少ない                             <ul style="list-style-type: none"> <li>× 整備時間内に冷えない</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行自由                             <ul style="list-style-type: none"> <li>△ 補正が必要</li> </ul> </li> <li>・ 走行前                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 走行増補正ゼロでOK</li> </ul> </li> <li>・ 日光の影響                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10km以上走行すれば解消</li> </ul> </li> <li>・ 点検作業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>★ プロは教育可能</li> <li>★ プロが指導・代行で可能</li> <li>○ いつでも、どこでも、正確に出来る。</li> <li>△ 整備は走行直後か完全に冷えてから</li> </ul> </li> </ul>
点検の記録	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車検・定期探検                             <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車整備振興会の点検記録調整『A』と記入するだけ</li> <li>点検・調整値の数値記録はしない。</li> </ul> </li> <li>・ 日常点検                             <ul style="list-style-type: none"> <li>メンテナンスノート: チェックだけ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車検、定期点検                             <ul style="list-style-type: none"> <li>点検調整時の日時、気温、点検結果調整結果の記録義務</li> <li>※ ユーザーに結果の報告義務</li> </ul> </li> <li>・ 日常点検                             <ul style="list-style-type: none"> <li>点検調整時の日時、気温、点検結果調整結果の記録が望ましい。</li> <li>※ 法人所有、業務用は記録保管義務</li> <li>★ 法律の改正をして</li> </ul> </li> </ul>

# 空気圧点検条件を日本自動車タイヤ協会推奨との比較

ページ4/4

一般乗用車の場合

タイヤ協会推奨	岡田康博推奨（岡田式）
<b>認知度</b>	
取扱説明書上では全日本	岡田康博
<b>普及度</b>	
守っている人は少ない（統計なし） 一般ユーザー：ガソリンスタンドまで走行 整備工場：冷えると見なして点検 ※ 完全な走行前冷えている時は一部 （統計なし）	世界で一人？
<b>整備講工場・ガソリンスタンドの設備投資</b>	
無し	温度計（屋外用・整備工場内用）
<b>点検人口拡大性</b>	
期待出来ない。 若い人ほどしないから	飛躍的に拡大の可能性あり 天気予報での空気圧予報 テレビ、新聞、インターネット 携帯電話、G-Bookなど
<b>空気圧の低下（自然漏れ+気温の影響）季節の違いによる注意よびかけ</b>	
自然漏れ：一ヶ月10～20kPa ※1年中同じ 季節：影響はなし（記載なし）	一ヶ月の自然漏れ：10～20kPa ※1年中同じ 季節：あり（重要） ※秋の気温低下時は要注意 春の気温上昇時は過剰に注意

# 空気圧点検条件を日本自動車タイヤ協会推奨との比較

## 点検基準過多

<p>イラストによるタイヤ変形の目視点検 ※高速道路走行直後 指定空気圧50kPa超：過多</p>	<p>最高気温時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路走行直後 指定空気圧+20%超 または指定空気圧+50kPa超</li> <li>・市街地走行直後 指定空気圧+17% または指定空気圧+40kPa超</li> <li>・走行前 指定空気圧+10%超 または指定空気圧+25kPa超</li> </ul> <p>限界 指定空気圧20%超</p>
---	--

## 点検基準 空気圧不足

<p>イラストによるタイヤ変形の目視点検 ※高速道路走行直後 指定空気圧未満：不足</p>	<p>最低気温時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路走行直後 指定空気圧未満</li> <li>・市街地走行直後 指定空気圧△5%以下 または指定空気圧△10kPa以下</li> <li>・走行前 指定空気圧△10%以下 または指定空気圧△20kPa以下</li> </ul> <p>限界 指定空気圧△10%以下</p>
---	---

## 今後の問題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検人口拡大</li> <li>・抜本的な見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普及のための教育</li> <li>・タイヤ内の空気温度を測定出来るゲージの開発</li> <li>・車種、タイヤの種類の違い検証</li> <li>・全国の平均気温分析</li> </ul>
---	--

## 点検法の使用料金

<p>無料</p>	<p>無料</p>
-----------	-----------